



VSSLog2Trac

～リポジトリがVSSでもTracと連携したい～

nagashimahr

さて今日は

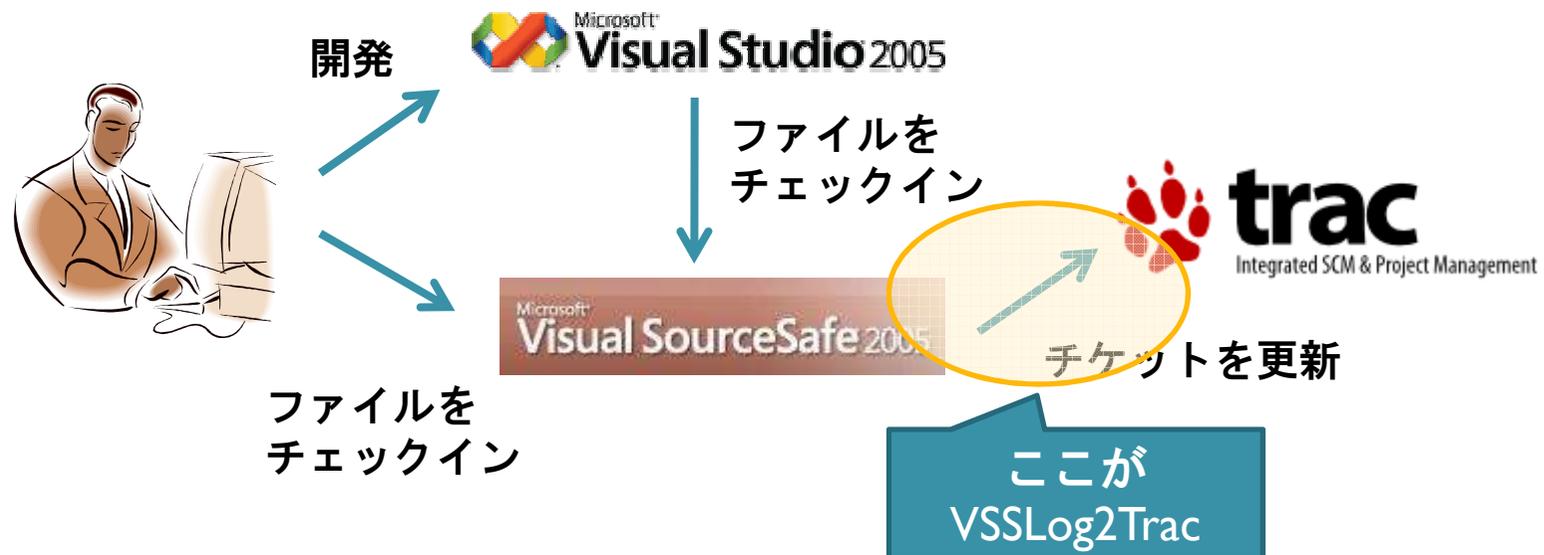
年末年始のお休みに作ったツール VSSLog2Trac について

- どんなツールなのか？
- なぜこんなツールを作ったのか？
- 使ってみてどうだったか？
- 今後はどうするか？

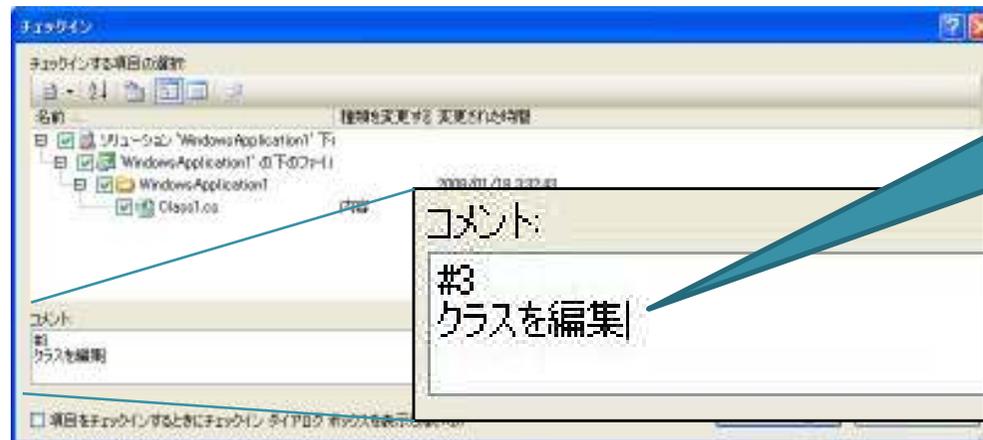
について軽く語ってみようと思います。

VSSLog2Tracとは

Visual SourceSafe 2005でファイルを
チェックインする際に、XML-RPCを
使って、指定したTracのチケットを自
動的に更新するVSSのプラグインです



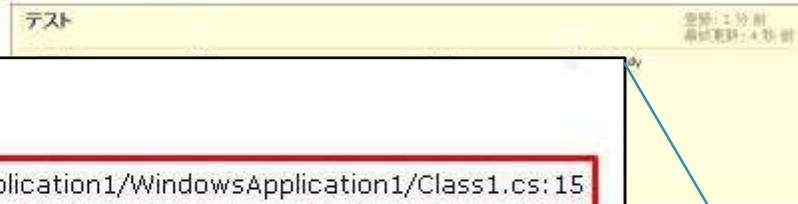
使用例



#[チケット番号]
ログ

の要領で記述

チケット #3 (new タスク)



クラスを編集 ← チェックイン時のコメント

Checkin: \$/WindowsApplication1.root/WindowsApplication1/WindowsApplication1/Class1.cs: 15

vss内でのパスと履歴番号

チケットの履歴



クラスを編集 ← チェックイン時のコメント

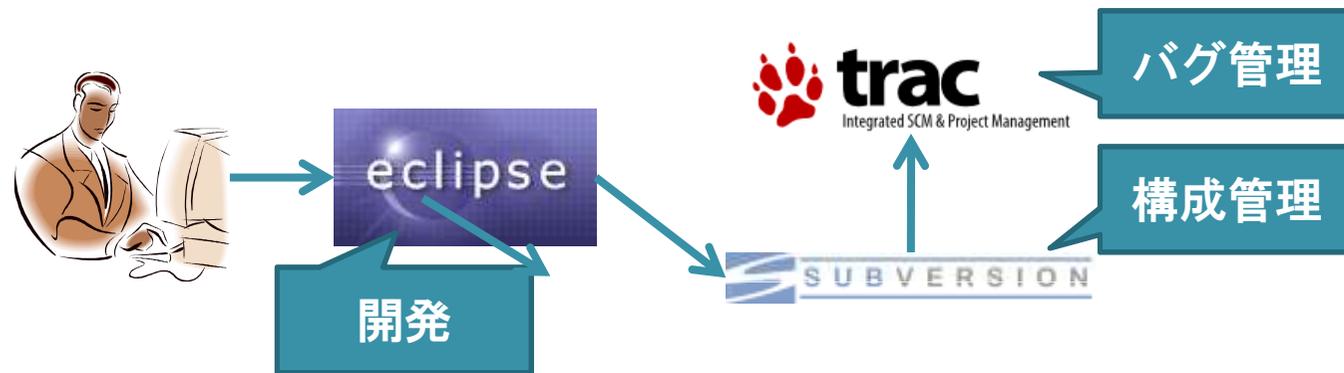
Checkin: \$/WindowsApplication1.root/WindowsApplication1/WindowsApplication1/Class1.cs: 15

vss内でのパスと履歴番号

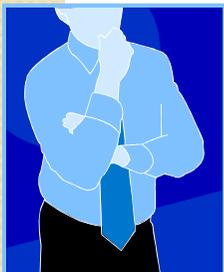
チケットの履歴にコメントが追加される

そもそもの発端は

- とよりのチームでEclipse + Trac + SVNでバグ管理と構成管理をしていた



- Visual Studioな私のチームでもTracでバグ管理をしたい！
 - 構成管理はVisual SourceSafe(VSS)で行っていた
 - バグ管理ができて、Visual Studioからも使いやすいツールとして、Team Foundation Server(TFS)があるが、高くてちょっと手が出ない



最初に考えたのが

リポジトリをSVNにする

- Visual Studio + AnkhSVN + SVNで開発
 - AnkhSVNとは、Visual Studio と SVNを連携するためのVisual Studioのプラグイン（オープンソース）
- VSSをやめる
- やってみると
 - AnkhSVNが使えない
 - うまくVisual Studio からコミットできない
 - Visual Studio の動作が遅くなる
- その結果
 - 開発者のストレスがたまってみんな(特に私が)イライラしはじめる。→生産効率の低下
 - 操作が分かりづらいこともあって、操作するのに余計な工数がかかるようになった
 - 利用して2カ月でVSSに戻しました



次に考えたのが

VSSとTracを連携する

- VSSのイベントをトラップし、コミット(チェックイン)時にTracに対してリクエストを送信する
 - 最初はWebページへの操作をエミュレートするコードを書いて、POSTリクエストでTracを操作していた
 - Trac 0.10からXML-RPCが使えるようになったので、XML-RPCでTracを操作するように変更

• やってみると

- Visual Studio + VSSの開発スタイルが変わらないので、開発者に負担がかからない
- Tracでメール連携すると、バグ修正時にメールが飛んできて、リマインダにもなって便利

• その結果

- チームメンバはTracの便利さの虜になってしまった
 - タスク・バグ管理はもちろん、情報共有もTracのWikiをするようになった
- いまはちょっとTeam Foundation Serverを試しに使っているが、やっぱりTracのほうが使いやすい



でも良いことばかりではなくて

- 各クライアントマシンにプラグインをインストールしなければならない
 - VSSはクライアントソフトであり、リポジトリはただのAccessのファイル
 - ローカルマシンで発生するチェックインイベントをトラップする仕組み
 - プラグインにバグがあると、すべての開発マシンに再インストールする必要がある



- VSSのチェックイン単位はファイル単位
 - “チェンジセット”という機能がない
 - 1度にたくさんのファイルをチェックインすると、ファイルの数だけチケットが更新される
 - メールと連動していると、まるでスパム状態
 - 先輩に怒られました



さて今後はどうしましょう

- より複数の機能を持たせる
 - チケットをクローズさせるとか
 - 理想はSubversionと連携してできることはこちらでも実現してみたい
- TracへのXML-RPC呼び出し部分だけ分離して公開
 - コードはC#で実装されている
 - .NETアプリケーションからTracを操作するためのインターフェイスを提供してみるとか
- Team Foundation ServerとTracの連携
 - TFSにもきつとイベントをトラップする仕組みがあるはず

最後に

- VSSLog2Tracで何がうれしいか
 - 既存の開発環境を生かしつつ、新たにTracを導入しても、連携機能が使える
 - .NETに限らず、まだまだ構成管理ツールとしてVSSを使っている現場は多い
 - VSSからSVNにそう簡単には移行したまらない
 - .NET な人々が無駄にTFSを使わずにすむ
 - 高いTFSを使わなくても、VSSとTracで開発することができる

気が向いたら使ってみてください